事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

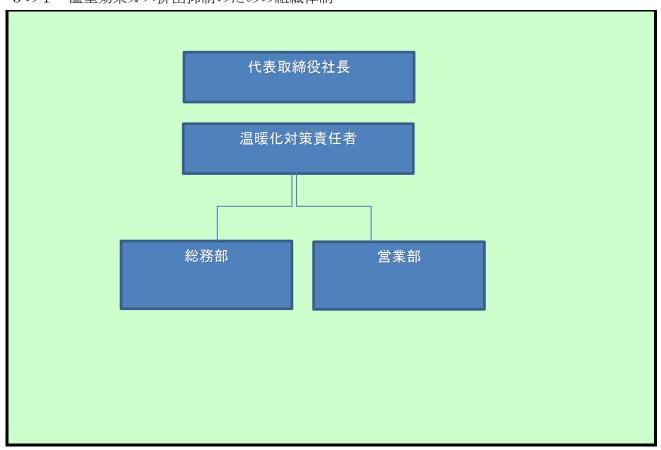
1 事業者等の	既要						
氏名又は名称			穂	高新聞原	販売株式会	社	
代表者名	氏	:名	林善徳		役職名	代表耳	文締役
主たる事務所 の所在地			長野県安	子曇野市	「穂高有明 S	9 4 3 5	
主たる事業	大分	分類		I	卸売・小列	売業 	
の分類	中分	分類		6 0	その他の小	小売業	
主たる事業 の概要	新聞	引販売業					
		条例第12条第	 1項第1号及び条値	列施行規	見則第4条第	第2項第1号に該当で	 する事業者
制度に該当する		条例第12条第	1項第1号及び条件	列施行規	見則第4条第	第2項第2号に該当で	する事業者
要件		条例第12条第	1項第2号に該当~	する事業	美者		
	V	上記以外(任	意提出)の事業	者			
		基準年度実績	最終年度の目標	第一	年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネル ギー使用量	k1	48. 53	43. 09		42.65		
エネルギー起源二酸 化炭素排出量	t- CO ₂	104. 24	103. 19		91. 21		
その他ガス 排出量合計	t- CO ₂						
自動車の台数	台	7			7		
自動車からの 排気ガス合計	t- CO ₂						
	計画	期間及び報告	1				 -
基準年度		2021 年度 計画期間 2022 年度~ 2022 年度					
報告対象 年度							
3 計画書(報行	告書)の公表方法	等				
☑ ホームペー	・ジ						

V	ホームページ	
	印刷物の閲覧	http://hotaka-shimbun.jp/
	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

旧態化し過大な電力を消費している設備機器を、最新の省エネ設備に交換してランニングコスト 低減・温室効果ガス排出抑制をする。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

温暖化対策推進会議(月1回)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

6の1 エネ	レギー起源二酸化炭	系の排田抑制に	-徐る⊨	惊及い夫領			
基準年月	基準排出量	104. 24	t-CO ₂	延べ床面積	8. 15	単位	百㎡
2021 年度	調整後排出量	104. 24	t-CO ₂	基準原単位	12. 79	t-CO ₂ /	百㎡
目標年度	目標排出量	103. 19	t-CO ₂	目標原単位	12.66	t-CO ₂ /	百㎡
2022 年度	目標削減率	1.00	%	目標削減率	1.00	%	
目標設定に関する説明	排出量と原単位を	1%削減する。					
第一年度	排出量	91. 21	t-CO ₂	延べ床面積	8. 15	単位	百㎡
77 172	削減率	12. 50	%	原単位	11. 19	t-CO ₂ /	百㎡
2022 年度	調整後排出量	91. 21	t-CO ₂	原単位削減率	12.50	%	
2022 平反	削減率	12. 50	%				
排出量等の 増減理由	LEDに変更したため						
第二年度	排出量		t-CO ₂	延べ床面積		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
- 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の 増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂	延べ床面積		単位	
为 二十尺	削減率		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /	
- 年度	調整後排出量		t-C02	原単位削減率		%	
一 中	削減率		%				
目標の達成状 況及び排出量 の増減理由							

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

ひのとエネルイ	一起你一路几灰糸以外切	温室効果ガスの排出抑制に係る目	保及い夫領
基 準 年 度	基準排出量	t-CO ₂	単位
2021 年度	調整後排出量	t-CO ₂ 基準原単位	t-CO ₂ /
目標年度	目標排出量	t-CO ₂ 目標原単位	t-CO ₂ /
2022 年度	目標削減率	% 目標削減率	%
目標設定に 関する説明			
第一年度	排出量	t-CO ₂	単位
分 十皮	削減率	% 原単位	t-CO ₂ /
2022 年度	調整後排出量	t-C02 原単位削減率	%
2022 中度	削減率	%	
排出量等の 増減理由			
第二年度	排出量	t-CO ₂	単位
70-10	削減率	% 原単位	t-CO ₂ /
一 年度	調整後排出量	t-C02 原単位削減率	%
十 汉	削減率	%	
排出量等の 増減理由			
第二左由	排出量	t-CO ₂	単位
第三年度	削減率	% 原単位	t-CO ₂ /
左帝	調整後排出量	t-C02 原単位削減率	%
- 年度	削減率	%	
目標の達成状 況及び排出量 の増減理由			

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

6の3 自動車	└の使用に伴り_酸	化炭素の排出抑制に係る	目標及び美績	
基 準 年 度	基準排出量	t-CO ₂		単位
2021 年度		2	基準原単位	t-CO ₂ /
目標年度	目標排出量	t-CO ₂	目標原単位	t-CO ₂ /
2022 年度	目標削減率	%	目標削減率	%
目標設定に関する説明				
第一年度	排出量	t-CO ₂		単位
知 干及	17° LL1 4E	0 002	原単位	t-CO ₂ /
2022 年度	削減率	%	原単位削減率	%
排出量等の 増減理由				
第二年度	排出量	t-CO ₂		単位
	Vol N N -t-		原単位	t-CO ₂ /
- 年度	削減率	%	原単位削減率	%
排出量等の 増減理由				
第三年度	排出量	t-CO ₂		単位
第二 十段	7FLUI 里	$t^{-}CO_2$	原単位	t-CO ₂ /
- 年度	削減率	%	原単位削減率	%
目標の達成状 況及び排出量 の増減理由				

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I ~ Π		燃料使用量等の 定期的な把握						
1 11	I -2	エコドライブの 励行						
Ш	Ⅲ −1	次世代自動車の 導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の 導入						

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

		区 公		į	計画		状況
番号	区分	区分 番号	対策内容	実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	150201	照明器具及びランプの適正な選択	2022	3. 69	2022	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績

(所、t-CO₂)

工場等の規模	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
(原油換算エネルギー使用量)	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500kl未満	1	104. 24	1	91. 21				
合計	1	104. 24	1	91.21				

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 $(t-C0_2)$

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH_4				
N_2O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
${ m NF}_3$				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況

(台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイ ブリッド自動車	0			
電気自動車	0			
燃料電池自動車	0			
クリーンディーゼ ル自動車	0			
その他 (ハイブリッド等)	0			
合計	0	0	0	0
自動車総数	7	7		
次世代車導入割合				

13 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関 の利用促進	なし
自 転 車の利用促進	なし
来 客 者 の 交 通 対 策	なし
物流の合理化	なし

14 環境配慮活動状況

	理控制度活動	活動内容の詳細		
環境配慮活動		実施内容	実施年度	
	SDGs	長野県SDG s 登録制度へ登録している		
	環境マネジメント システム	環境マネジメントシステムを導入している		
		名称		
	TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD) 支持を表明している		
	グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
	ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
	SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
	RE100	□ RE100にコミットしている		
		□ 再エネ100宣言RE Action へ参加している		
	その他			

	COSIE	
1 5	5 自由記載欄	